

運送業界の健康支援を生きがいに

200 健康と安全を推進する協議会(両輪会)Web開催



両輪会はグループ討議形式によるフェイストフェイスによるぎゅくばらんな情報交換会として、これまで25回を重ねてきました。そのため、まさか「Web」とは、私自身でさえ、驚いています…。

しかし、コロナ感染の収束が見えない状況の中、このままでは消滅してしまうのではという危機感を感じ、(フェイストフェイスには反しますが)2月24日、Webでの開催に踏み切ることとなりました。先日、HPとメルマガにて案内したところ、バス・タクシー会社も含め、すでに全国から続々とお申し込みを頂いて、皆様方の関心の高さを感じています。

■両輪会の本音の会

「急増する居眠り運転事故の背景を探る」事例による事故原因の究明と対応法」をテーマに開催した第16回では、次々と事故事例の発表があり、「こんなデリケートな話をオープンにしても大丈夫?」「国交省の事故報告はどんな形になるの?」など、驚くほど多くの発表を頂きました。まさしくこれこそが、両輪会の真髄といったところでしょうか。

■血圧管理とSAS対策

Webでの第26回では、「血圧管理とSAS対策で健康起因事故を防止しよう」点呼時の活用を踏まえて

「をテーマに、点呼自体のクオリティを何とか上げることができないかこの思いも込めて、開催します。事業者による事例報告1

では、梅田運輸倉庫(株)相談役の岩崎様が点呼時における血圧測定実施に至るまでの経緯を、苦労話とともにストレートにお話くださいます。「点呼の際の血圧測定は、重要だと感じているが現実的には難しい」と二の足を踏んでおられる事業者には、きっと参考になると思います。

事例報告2では、行方運送(株)の安全衛生推進室室長の名雪様から、SAS対策の必要性や難しさを、ご自身のご経験を通してお話してください。

Webならではのインタビューや、意見交換等の時間もありますので、現場でお困りの案件などを踏まえて、どんどん発言していただければと思います。

(今回は3月14日号に掲載)

《全日本トラック協会 SAS 検査受託機関》
NPO 法人 ヘルスケアネットワーク (OCHIS)

副理事長 作本 貞子

「安全と健康を推進する協議会(両輪会)」代表
国土交通省健康起因事故対策協議会委員

TEL : 06-6965-3666

FAX : 06-6965-5261

東京オフィス TEL : 03-3295-1271

E-mail sakumoto@ochis-net.com

HP <http://sas.ochis-net.jp/>